



2021-22 年度
国際ロータリー会長
ジェカール・メータ

Weekly Report Niigata



2021~22 年度
新潟ロータリークラブ会長

石橋 正利



新潟 RC 11 月第 4 例会 (2021.11.30) (Zoom 例会併催) No.3391

(1) ロータリーソング「それでこそロータリー」

ピアノ演奏

(2) 石橋 正利会長挨拶

第2分区分会幹事会が、開かれました。各クラブの例会・行事の開催状況について情報共有がされました。

新潟東 RC は、新年会は行う予定だが家族は呼ばず会員のみで行う。新潟南 RC は、12 月のクリスマス家族会は昼例会とし、家族は呼ばず会員のみで行う。新潟西 RC は、新年会を予定しているが家族は呼ばず、所要時間も1時間30分程度にするなど、多くのクラブが、行事に家族を呼ばない状況になっています。

新潟 RC としては、感染対策に気を付けて、家族会にして行きましょう。

それと、片山ガバナー補佐からは、ロータリー地域協働ネットワークの次年度副センター長を今年度中に新潟 RC より選出していただきたいとの依頼を受けました。「ロータリー地域協働ネットワーク」とは、地区に情報を集約し、必要な被災地に必要なもの(ヒト、モノ、カネ、情報)を届けるネットワークです。

次に、ロータリー国際大会のご案内です。

米国テキサス州ヒューストンで、2022年6月4日~8日、開催される予定です。テーマは、「新たな地平線を見よう」です。早期登録による割引料金をご利用いただける最終日は12月15日です。では、映像をご覧ください。「ここには、新たな発見が無限にあります。人生の新しい意味が見つかるでしょう。ロータリーの仲間たちと熱意を分かち合いましょう。」と語りかけています。

そして、ロータリー国際大会の前日には、ロータリー会長主催会議があります。テーマは、「平和のために奉仕する」です。より平和で回復力ある社会を築くためのロータリーの活動に焦点を当て、平和の8つの要素をどのように支えているかも取り上げるそうです。「平和の8つの要素」は、以下の通りです。

1. 腐敗/汚職のレベルが低いこと
2. 他者の人権を受け入れること
3. 情報の流通が自由に行われること
4. ビジネス環境が良好であること
5. 人的資本のレベルが高いこと
6. 資源が公平に配分されること

7. 隣国との関係が良好であること 8. 政府が十分に機能していること

最後に、平和の推進におけるロータリーの4つの役割とは、以下の通りです。

- ① 実践者: 疾病との闘い、水と衛生、母子の健康、教育の支援、地域経済の発展といった分野でのロータリーの活動は、平和な社会への最適な条件を作り出します。
- ② 教育者: ロータリー平和センターは、効果的な平和の推進者となる 1,300 人の平和フェローを育成してきました。卒業したフェローは、政府、教育、国際機関などで平和分野のキャリアを築いています。
- ③ 調停者: ロータリー会員は、ポリオの脅威にさらされた地域の子どもにワクチンを投与するため、紛争地域における人道的停戦の交渉を行ってきました。
- ④ 提唱者: ロータリー会員は、平和構築や紛争後の復興プロセスに積極的にかかわり、重要な役割を果たしています。

(3) ビジターの紹介

・渡辺 敏彦君 (PG 新潟南 RC 会員)

(4) 委員会報告

・小林建 IA 委員長報告

① 先日、皆様にお願ひ致しました、新潟市内4校インターアクト献血キャンペーン(令和3年12月19日(日)新潟県赤十字血液センターもしくは万代シティ「献血ルームばんだい ゆとりろ」TEL:0120-869950 にロータリークラブの献血活動と予約)に7名のお申し込みを頂きました。菱電社の女性社員の方にもお申し込み頂き感謝致します。

② 優秀インターアクター表彰状と楯を先週の水曜日、石橋会長と新潟明訓高校 中山校長をお訪ねして、お渡しして参りました。

・「野鴨を食べる会」について小飯田 澄雄担当より

12月7日(火)午後6時より 長吉(西蒲区山口新田 91 電話 0256-86-2618)に於て感染対策を行って開催致します。現在35名のお申し込みです。ご出席可能な方は、これからでも事務局へご連絡願ひます。

(新潟 RC 事務局 電話 025-222-5050)

(5) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(得永 哲史委員長)

鈴木 滋弥君 (ベネファクター)

米山奨学会寄付発表(佐藤 紳一委員)

本多 晃君

青少年育成基金寄付発表(本間 利夫委員)

本間 疆君

(6) ニコニコボックス紹介 (本多 晃委員長)

・山田雄治地区ロータリー財団副委員長 卓話にうかがいました。よろしく願います。

・高橋 秀樹君 渡辺敏彦パストガバナーを歓迎してニコニコいたします。

・高橋 秀樹君 山田雄治地区財団副委員長を歓迎してニコニコいたします。

・得永 哲史君 山田地区ロータリー財団副委員長をお迎えて

・東 善明君 感染症が少し落ち着き、夜の会合で皆様とご一緒できる機会も増えてきて、その都度ニコニコしています。明日から師走です。オミクロン株は心配ですが、このまま新潟本来の元気を取り戻して、年末年始を乗り越えたいですね。結婚記念日と誕生日のプレゼント、どうもありがとうございました。

・徳永 昭輝君 久しぶりに出席出来ましたので。

・田村貫次郎君 今月、2件も「お祝い」をいただきました。有難うございました。

(7) 卓話「ロータリー財団について」

地区ロータリー財団委員会 山田 雄治副委員長

(8) 11月30日の例会参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
88	87	65	74.71

Zoom参加者 9名

12月7日の例会予定
「年次総会開催」

新潟ロータリークラブホームページアドレス
<http://www.niigatarc.jp/>

ポール・ハリス語録より

人生訓

私たちの生きる目的は何でしょうか?

学ぶことです。

何を学ぶために生きているのでしょうか?

学ばなければならない唯一のことは、どうすれば自己にとらわれないようになるかということです。私たちはそれを学ばなければなりません。学ばないわけにはいきません。ひとりで学ぶことができなければ、強制されるでしょう。遅かれ早かれ、私たちは自己と決別せざるをえません。

最後の日を迎えるまで、自己にとらわれているかもしれません。あるいは自然に、徐々に、そうです、喜びをもって、自己と決別できるかもしれません。

18歳のとき、あなたは100パーセント、エゴそのものです。そうではありませんでしたか? 単に自己中心であるばかりでなく、徹頭徹尾自分のことだけ考えていました。トーマス・カーライルによると、18歳で、人は嫌味の極致に達する、ということです。

それから、仕事に就きます。そして、あなたの自我が屈服します。次いで、結婚します。結婚に伴い、あなたの自我はまた屈服します。

そして幸い子供に恵まれましたら、その時までには、あの100パーセントのエゴで、残っているものは殆どないでしょう。自我との決別はこのように徐々に、自然に、喜びを伴いながら来ますので、あなたは自分の内部で何が進行しているか殆ど気付かないでしょう。それぞれの経験は、待ち望まれ、言い表しがたい喜びをもって期待されたものです。これは犠牲でしょうか? そうです、犠牲と呼ばれてきたかもしれません。しかし、あなたは、犠牲を払うという榮譽のために懸命に闘ってきたことでしょう。

これが極く自然な学び方です。あなたの母親も同じように学んできました。母親の人生は、あなたのよく知っている「Service, not self」という主義を最もよく表わしています。最後の日を迎えたとき、屈服しなければならないものは、彼女にほとんど残っていません。彼女には1パーセントのエゴしかありません。その1パーセントは、揺らぎながら消え去ります。しかし99パーセントは、これまで生きてきましたし、現在も生きています。そして、これからも生き続けていくでしょう。

私たちの生きる目的は何でしょうか?

学ぶことです。

何を学ぶのですか?

人生を学ぶのです。

人生から何を学ぶのですか?

人生から学ぶのは唯一のことです。

人生を送る中で、いかにエゴと決別するかを学びます。

ナショナル・ロータリアン 1912年7月号